

# ■ドリームカップ2014 型競技概要■

※新極真会の会員のみ出場可能

- 部門 1. 小学生男子低学年 2. 小学生女子低学年 3. 小学生男子高学年 4. 小学生女子高学年  
5. 中高生男子 6. 中高生女子  
7. 一般男子(19才以上35才未満) 8. 一般女子(19才以上35才未満)  
9. 一般男子(35才以上～) 10. 一般女子(35才以上～)  
11. 団体

参加制限(個人) なし

参加制限(団体) 出場選手に段級位や年齢、性別等の制限はない  
チームは同一の支部道場に所属している選手で構成すること  
チーム構成には、段級位や年齢、性別等による制限は設けない

- 判定方法 1. 主審を含めた5名の審判員でトーナメント方法にて行う  
2. 5名の審判員のうち3名以上の判断(旗)を有効とする。但し、引き分け判定はなしとする

| 試合型(個人) | 階級  | 小学生低学年           | 小学生高学年                                   | 中高生                                     | 一般<br>(19才以上35才未満)   | 一般<br>(35才以上) |
|---------|-----|------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------|---------------|
| 1・2回戦   | 指定型 | 太極2              | 平安2                                      | 平安5                                     | 撃塞大                  | 最破            |
| 3・4回戦   | 指定型 | 平安1              | 平安3                                      | 最破                                      | 突き <small>の型</small> | 征遠鎮           |
| 準決勝以上   | 選択型 | 平安2<br>平安3<br>安三 | 平安4<br>平安5<br>安三<br>突き <small>の型</small> | 安三<br>撃塞小<br>突き <small>の型</small><br>十八 | 自由<br>(除:太極)         | 自由<br>(除:太極)  |

※指定型・選択型はともに年度ごと競技委員会にて変更する

※出場人数により1・2回戦の指定型を1回戦にのみ行い、3・4回戦の指定型を2回戦に行う場合がある

試合型(団体) 演武型は自由(新極真会指定型のみ。但し太極を除く)。各回戦の演武型も各チームの任意とする。

試合方法(個人) ■1回戦～決勝

- 主審は両選手の中央に立ち、「正面に礼」「主審に礼」「お互いに礼」と指示
- 礼を終えたら、白の選手は場外にて正座(足を崩しても良い)。赤の選手は自ら型の名称を宣言(指定型の場合も宣言)し型を行う。ただし、「始め」「直れ」「休め」の発声は無しとする
- 赤の選手の型が終了したら、白の選手が試合場中央にて同様に型を行う。赤の選手は場外にて正座(足を崩しても良い)
- 両選手の型が終了したら、主審は両名を試合場中央にて正面を向かせて「判定を取ります」「判定」と審判の判断を求める
- 主審は勝者を決定し、「正面に礼」「主審に礼」「お互いに礼」と指示して選手を退場させる

試合方法(団体) ■1回戦～決勝

- 両チームは試合場正面を向き縦1列に整列する。主審は両チームの中央に立ち、「正面に礼」「主審に礼」「お互いに礼」と指示。
- 礼を終えたら、白のチームは場外にて正座(足を崩しても良い)。赤のチームは試合場正面を頂点(頂角)とする三角形の各頂点部分の開始線に立ち、チームの代表選手が、「黙想(※型による)」、「型の名称」、「用意」、「始め」と号令をかけ型を行う。型が終了したらチームの代表選手が「直れ」、「休め」と号令をかけ不動立ちになり主審の指示を待つこと
- 赤のチームの型が終了したら、白のチームが試合場にて同様に型を行う。赤のチームは場外にて正座(足を崩しても良い)
- 両チームの型が終了したら、両チームは試合場正面を向き縦1列に整列する。主審は「判定を取ります」「判定」と審判の判断を求める
- 主審は勝者を決定し、「正面に礼」「主審に礼」「お互いに礼」と指示してチームを退場させる

## ■型競技審判基準■

### ○判定項目

- |            |                                              |
|------------|----------------------------------------------|
| 1. 正確性     | 立ち方、姿勢、目線、突き、受け、蹴り、攻撃部位の正確さ                  |
| 2. 安定感     | 重心移動、回転運動、運足、跳躍、伏臥のバランス                      |
| 3. 躍動感     | 身体の収縮、伸びやかな動きと躍動力                            |
| 4. 力の強弱    | 無駄な力を入れず切れ味鋭い技、極め技は爆発的な力強さ                   |
| 5. 技の緩急    | スピード感、リズム感が単調にならず技に緩急をつける                    |
| 6. 呼吸の調整   | 激しい動き、ゆっくりした動き、それぞれの動作と呼吸を調和させ乱れのない呼吸と烈迫の気合い |
| 7. 残心      | 技が極った後、型の納め際の敵の反撃に備える心の構え                    |
| 8. 同調(型団体) | 3名の競技者の拳動、強弱、スピード感、リズム感に差異がなく、同調(調和)されている    |

### ○減 点

- 型(拳動等)の間違い
- 一時的な停止

### ○判定基準

- 減点1の場合、判定項目の優劣によって逆転の判定もあり得る
- 減点2の場合、相手に減点1が無い場合は判定負けとなる
- 両者とも減点が無い場合、判定項目の優劣で判定する

### ○失 格

- 型の忘却、間違いにより継続できない場合失格となる